

キャラクター名  
アーサー・カークランド

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン		ワークス	ヒーローC	カヴァー	喫茶店マスター
オプション			年齢	25	性別	男
覚醒	素体	衝動	解放	初期侵食率	34	%
出自			経験	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	0		1			1	行動値	10
感覚	0		1			1	(非装備時)	10
精神	6	1	1			8	戦闘移動	15
社会	2		0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避			知覚			意志	3		調達	1	
運転: 2輪			芸術:			知識:	4		情報:ヒーロー	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	1r	0	-5		
バスカヴィルの魔犬	交渉	2r				メジャー4+5 侵蝕値:7
ベルグレーピアの醜聞	交渉	2r				メジャー4+5+6 侵蝕値:10

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	10	3			

所持品	
コネ:手配師	
コネ:UGN幹部	

合計装甲: 3    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
キク・ホンダ	P 執着	N 無関心		
アルフレッド・F・ジョーンズ	P 庇護	N 憐憫		
ギルベルト・バイルシュミット	P 有為	N 不安		
マシュー・ウィリアムズ	P 庇護	N 憐憫		
イヴァン・ブラギンスキ	P 親近感	N 不快感		
	P	N		
Dロイス:指導者	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
生き字引	1	2	メジャー	至近	自身	-	-	
効果: [情報:]の代わりに[意志:]を使用して情報収集判定を行う 情報収集判定のダイス+LV個								
ブリックリーク	1	4d10	イニシアチブ	視界	単体	自動	120↑	
効果: 1シナリオに1回まで。行動済みの対象でもイニシアチブプロセスにメインプロセスを行える								
常勝の天才	7	6	セット	視界	シーン	自動	ピュア	
効果: 対象がRで行う攻撃判定に+ [LV×4]								
アドヴァイス	5	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 対処が行うメジャーアクションのクリティカル値-1(下限値6)し、その判定のダイスを+LV個する								
弱点看破	3	3	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: ラウンドの間の対象が行う攻撃の攻撃力+[LV×3]								
戦場の魔術師	3	3	メジャー	-	3体	自動	-	
効果: 『アドヴァイス』と組み合わせた判定の対象を3体へ変更								
プロファイリング	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 物質や品物を観察し、ちょっとした情報から対象の人物像を描き出す								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ノイマンピュアブリード  
 表の顔は古びた喫茶店のマスター。その実態はエリート街道まっくらな若きUGN支部長。両親は生まれてすぐにジャームとUGNのいざごに巻き込まれ事故死し、奇跡的に生き延びたアーサーをUGNが保護。以降オーヴァードとしての力を覚醒した。覚醒する以前からその頭脳は抜きん出ている。彼が戦場に居れば勝利が約束されたも同然と謳われることにより『エクスカリバー』と呼ばれ、敵対する側からも勿論のこと身内からも恐れられている。

眼鏡と普段からつけて外さない黒手袋、かっちりとしたウェイター姿から一見神経質で気難しそうに見えるがその気質は非常に淡白。反面力に目覚めて右も左も分らないアルフレッドを指導したり、その兄弟である一般人であるマシューも引き取る面倒見の良さも伺える。信頼を寄せているキクとは自称ビジネスライクな仲だが、彼の放つ雰囲気から居心地の良さを覚えている。

日常というものからかけ離れた生活を強いられていた彼にとっては非日常が日常的であり、それを不服とは決して思わない。自分の境遇を時に同情や憐れみを持たれることは多いが本人自身はさして自分の過去や因縁には興味はなく、ただ淡々と仕事をこなしていく。冷酷とも違う温厚とも違う彼の行動は一体周りにはどう見えているのだろうか。